

東洋大学との相互学生交流プログラム（ICAAP）

経営学部では、1999年4月から東京にある東洋大学経営学部との間で単位互換のための相互学生交流プログラム(Inter College Academic Alliance Program)を実施しています。

これは、東京と京都という文化的・地理的風土を全く異にする他地域・他大学で学ぶことで、同一地域・同一圏内の大学のみで学ぶ以上の幅広い視点からの学修が可能となり、多様で新鮮な経験を積む機会を得ることを目的としたものです。

派遣期間は毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間のものと、半年間の2つのプログラムがあり、派遣する学生数は、毎年若干名の予定です。派遣対象者は2年生・3年生（派遣・受入時）の正規学生ですが、実施年度によって異なります。

なお、派遣期間の学費は龍谷大学へ納入すれば、東洋大学の学費は免除されます。ただし、履修する科目によっては、実習料などが別途必要となる場合があります。

龍谷大学から東洋大学経営学部へ派遣される学生の資格、条件、履修方法などは以下のとおりです。詳細は東洋大学経営学部の履修要覧を参照するとともに経営学部教務課に問い合わせてください。

派遣対象学年	2・3年次
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次派遣学生 〈4月派遣〉（1年プログラム、セメスタープログラムとも） 1年次配当の必修科目を修得済みで、修得単位数が37単位以上であること。 〈10月派遣〉（セメスタープログラムのみ） 2年次1学期配当までの必修科目を修得済みで、修得単位数が55単位以上であること。 ・3年次派遣学生 〈4月派遣〉（1年プログラム、セメスタープログラムとも） 教養教育科目および専攻科目の必修科目、コース必修科目を修得済みで、修得単位数が73単位以上であること。 〈10月派遣〉（セメスタープログラムのみ） 教養教育科目および専攻科目の必修科目、各コースの必修科目を修得済みで、修得単位数が91単位以上であること。 <p>※2・3年次とも応募時には単位修得見込みでよいが、派遣時に単位が修得できていない場合は派遣を取り消します。</p>
応募方法	経営学部掲示板および学内広報を通じて公募します。
選考方法	書類選考および面接などを実施します。
派遣キャンパス	東洋大学白山キャンパス（東京都文京区白山）
授業の開設方法	東洋大学では原則としてセメスターで開講されています。
履修可能科目	東洋大学経営学部開講科目および東洋大学経営学部生が履修可能な他学部開講科目

単 位 認 定	<p>派遣学生の本学での単位取得状況に応じて、東洋大学で修得した単位のうち、学則第38条で規定する範囲で単位認定します。</p> <p>(なお、2年次生で派遣された場合は、必修外国語4単位を優先的に履修し、かつ本学部の選択必修科目に近い領域の科目を履修すること望ましい)。</p> <p>ただし、海外留学、大学コンソーシアム京都科目などを履修し、既に単位認定を受けている場合は、その分を学則第38条に基づく認定単位数から差し引いた単位数が認定されます。</p> <p>なお、東洋大学で教職関連科目を修得しても、本学の教職関連科目としては単位認定しません。</p>
演 習 の 選 択	<p>東洋大学でも演習の履修が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次派遣学生 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本学で基礎演習を履修中であり、かつ本学に復帰後に演習の履修を希望する学生が、東洋大学の基礎演習Ⅰ(3セメスター開講)を修得した場合、本学経営学部の基礎演習の単位として4単位を認定します。 (2) 東洋大学の基礎演習Ⅱ(4セメスター開講)を修得した場合、本学での演習は継続履修とし、復帰後に演習に所属できます。 (3) 本学で基礎演習を履修していない学生が、東洋大学で基礎演習Ⅱ(4セメスター開講)を修得した場合、本学復帰後の演習に所属できます。 ・ 3年次派遣学生 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本学で演習を履修中の学生は、東洋大学で演習Ⅰ(5セメスター開講)・Ⅱ(6セメスター開講)を修得した場合、本学での演習は継続履修とします。 (2) 本学で演習を履修していない学生が、東洋大学で演習Ⅰ, 演習Ⅱを修得した場合、本学の演習(4単位)で読み替えます。 <p>ただし、本学へ復帰後、演習には所属できません。</p>
そ の 他	<p>履修制限単位やその他科目の履修などは、東洋大学の履修規定によります(東洋大学履修要覧を参照してください)。</p>